

# ディベート入門～パレンタインデーは是か非か!～

## 20期新報

島マス記念塾  
事務局担当者  
無責任編集  
TEL937-3385  
MASU@OKICITY  
SHAKYO.COM



### 模 擬 デ ィ ベ ー ト 屋 比 久 功 先 生



▼屋比久先生！  
実践って大事な  
んだなって思い  
ました。頭で考  
えるよりも、ずつ  
と楽しかったで  
す。(ゆーこう)

▼イヤー楽しい！  
ディベートでの  
目標は、うまく伝えておも  
しろくワクワクした気持ち  
で終わること。(潤子)

▼ディベート初体験。模擬  
にも関わらず、意外に盛り  
あがり、とても楽しかった。  
本番がとても楽しみ。(篤)

▼ワクワク、ムズムズ。心  
がふるふるミニミニディベ  
ートでした♪。本番が楽しみ  
です！(千尋)

▼遅れてディベートは参加  
できませんでした。本番が  
んばります。パレンタイン  
というテーマがどうなるか  
と想像していましたが、たく  
さん論点が出てましたね。  
(和賀子)



▼やばいな。やべえーよ。  
楽しくなりそう、テーマは  
パレンタイン。軽すぎるか  
と思われたがプロセスを楽  
しんで行こう(ケンちゃん)

▼ディベートで白熱して、  
みんなのいろんな意見が聞  
けて、話もできてよかった  
と思います。20期生ってやつ  
ぱ面白い。(ミッチー)



### 自分磨きのために

▼ディベートはなりきるこ  
とが大切だと思います。  
いろんな角度から物事を考



▼二月十四日のディベート  
本番楽しみです。(美奈子)

▼ディベートで、今思っ  
ていることと、違うことを伝  
えることは難しいんですが、  
面白かった。頭の中がたく  
さん回転しました(笑)。  
(夏美)

▼何のためにやるの？言葉  
を磨くため。メリットはあ  
るの？多面的に物事を見る  
ことができるようになる。  
しびれますねえ。ディベ  
ート楽しいです。(彰吾)

▼影響されそうなので、あ  
えて過去のDVDを観てな  
い私。ディベート(討論)  
は硬いイメージでしたが、  
しかし、TVタックルや国  
会中継？と違い、模擬ディ  
ベートはかなり面白かった。  
本番が楽しみです。(良子)

える機会になりました。  
(知念直樹)

# 模擬デイベート



屋比久先生の開始の合図で、バレンタインデー否定側の六分半に渡る立論から模擬デイベートは始まりました。否とする根拠として

「お菓子には白い麻葉とも言われている砂糖が大量に使われている。砂糖は情緒不安定の原因のひとつ」「お金がかかる。金武町の某小学校では1万円以上使う子もいる」「義理チョコと名前からも気持ちが悪くない形式的な行事でもらっても嬉しくない」「学校で1日中ソワソワして落ち着きがなくなる」「ホワイトデーでの見返りを求めてチョコを渡している」「廃止している企業も多い」など7名のメンバーで、現状や悲しい体験談も混じえながら熱く語りました。対



◆私の性格を四文字 県総から続く海岸線熟語で現すと「一刀は、癒しの浜です」◆  
両断―動物では「ハマイブームは辞典&イエナ」です。家族 凶鑑集め。一番のおは一言居士な夫と寡 気に入りは「日本近 黙な長男、超天然な 海産貝類凶鑑」◆旅 長女、鉄砲玉な次男 行誌るるぶ発行の(株) ちも好き!芸能人 5名◆住んでいる JTBパブリッシン は所ジョージ。仕事 北中城の美 グで、書店を巡回し 崎地区は区 雑誌の販促活動をす が好き◆一番好きな 立10年に満 る「ブックセレクター」 映画はジブリ作品で たない新し という仕事をしま す(みんなにはウソ いた地区で、 す◆犬&ネコが好き をつけてました)



名幸優子

する肯定側は「バレンタインデーは愛を育む」をテーマに、「勇気を出して愛を告白し、世界中に幸せな恋人が増え、子孫繁栄につながる」「クラス全員にチョコを送る全チョコというのがあり、もらえない悲惨な?男子やいじめを防止している現状がある」「菓子業界だけでなく、いろんな業界にお金がおちる経済効果は大きい」「男女だけではなく、人と人とのコミュニケーションの日となつている」「生活の潤滑油として必要である」「この行事はすでに文化として根付いている。文化は生活を豊かにするもので必要である」という立論を展開しました。その後、双方のチームから「経済効果があると言って

も、それは限定的なのでは?」「健康被害は食べる量の問題で、少量なら問題ない」「あなたは量を抑えられませんか?さつきケーキをたくさん食べていましたけど!」「そもそもこの文化ですか?欧米か!!」「スーパーでもお菓子を売っているのに、バレンタインだけで健康被害があるとは思えない」「過去の悲しい個人的な感情や思い出話ではないか?」「義理チョコでも、もらったら嬉しいでしょ?」などと、時には熱く、時には大爆笑の尋問、反論が繰り広げられました。結果は10対4で肯定側の勝利となり、屋比久先生からは「否定側は、気張らず自然体で体験談も混じえながら軽快に分かりやすく主張していた」「肯定側は一貫したテーマで、演出効果を考えながら、男女愛から人間愛まで大きなストーリーがあった」「各チームともカラーが出ていて、どちらの主張もわかりやすかったが、勝利にこだわった肯定側の作戦が優った」との講評がありました。



ザ・忘年会。ゲームやプレゼント交換も楽しかったあ。2次会のカラオケも、RCサクセッションからAKBまで年齢を超えてアゲアゲ!で盛り上がりました。